



本校では資格取得に力を入れています。特に「英検」に関しては PTA による検定料補助制度があります。昨年度は延べ人数で 200 名を超える生徒が受検しました。授業や課外を通して合格を目指し、がんばっています。

その中でも英検に果敢に挑んでいる 2 名の生徒に話を聞いてみました。まず一人目は 3 年生のロリン・タジマ・ジョナタス君です。彼は 2 年生の時に準 1 級に合格しました。一般的に準 1 級は大学生レベルとされていますから、スゴイことです。さらに続けて 1 級を受検し、現在、1 次試験を突破したところです。1 級合格の壁は厚く、簡単に乗り越えられるものではありません。次回の検定では 1 次免除で 2 次試験から受検します。

二人目は 2 年生の宮本蓮君です。彼は入学以来つねに英検を受検し続け、3 級、準 2 級、2 級とストレートに合格してきました。1 年生で 2 級に合格するのはなかなかできることはありません。

この 2 人と学習指導部横島（英語科）の 3 人で場を設け、話をしました。予想以上に盛り上がりました。英検の話に始まり、次第に高校受験の時のこと、毎日の授業のこと、将来のことなどさまざまなことを話し合い、とても有意義な時間を過ごすことができました。



宮本君 ジョナタス君

【英検のこと】

宮：僕は、高校生のうちに準 1 級を取りたいと思っているのですが、準 1 級を受検して感じたことを聞かせてください。

ジ：1 次試験は語彙が増えて、さらに難しくなるので、ていねいにくりかえし勉強したかな。問題集を 3 週ぐらいやった。それ以上に 2 次試験の面接が 2 級とはレベルが違って難しかった。面接のトピックが準備なしに答えられるようなものじゃない。日頃から社会に、特に地球規模の課題に関心を持ち、自分はそれについてどう思うか考えるようにしておくといいかな。

宮：なるほど。表面的に知っているだけではだめなんですね。

ジ：そう。でも、1 級はさらにもっとスゴくてハンパなかった。1 次試験の単語もまったく普段見

ないものばかりだし。こんな単語あるの？覚えられる気がしないみたいなの。

宮：うわあ～。

ジ：でも 1 級まで取りたいって思っているからがんばって勉強した。その甲斐あって、1 次試験はなんとか突破できたけど、2 次はダメだったね。5 つのトピックが出されて、1 つ選ぶんだけど、そのうちのいくつかは何を聞かれているのかすらわからなかった。次に向けてとにかく準備。

宮：先輩でもそうなのか…。僕もがんばらないと。



【授業のこと】

宮：それだけ英語ができれば学校の授業は必要ないって思うんですけど。

ジ：そんなことはないよ。難しい内容をやればやるほど基礎・基本の大切さがわかるんだ。けっこう忘れていることも多くて。簡単なことでも間違ってしまうことがあるし、テストだって満点とか取れないし。

宮：たしかに。僕も授業を受けていて自分の知らないことやできないことがけっこうあるんだなって。真剣に聞かなきゃって思います。

【高校受験の時のこと】

宮：失礼なことを聞きますが、先輩は守谷が第一希望だったんですか？これだけ英語ができるならもっと違う高校でも…と思うのですが。

ジ：ははっ。そうだよねえ～。実は当時の僕は自分で高校について調べたりをあまりやらなかったんだ。周囲の進めるがままに志望校を決めてしまったってとこかな。入学直後、後悔したのを今でも覚えてるよ。でもそのとき、こうなったのは仕方がない、自分の責任だって思った。だから頭の中をすべてリセットすることにしたんだ。気持ちの整理ができれば、もやもやが吹っ切れて、徐々にがんばれるようになった。環境のせいにしない、自分が変わればって。

宮：すごいですね…。

僕も守谷は第一希望ではなかったんです。いろいろあって、ここにいます。今の言葉を聞いて、先輩と少し似てるかもって思いました。僕も当時は気持ちが揺れて。最終的には守谷でやっていくと決めて入学しました。実際に入学してみると、先生たちはとても指導が熱心で、授業もわかりやすい。しかも個別に勉強を見てくれたりして。ほんとありがたいです。あとは生徒もいろいろな人がいておもしろくて、毎日楽しいです。

ジ：結局、自分、なんだよね。

宮：そうですね。



【将来のこと】

宮：将来はどういう道に進もうとかありますか？

ジ：まずは大学行って、留学もしたいな。将来は海外で活躍したい。外の国を見たい。

宮：カッコいいですね。僕は外国で仕事をするとか、住むとか、あまりイメージができません。

ジ：じゃあ、宮本君はやりたいこととかあるの？

宮：ん～、とりあえず法律の勉強がしてみたいです。興味があるので。大学の法学部に行きたいと思っています。

二人の話を聞いて、彼らが持ったくましさを感じました。今後も応援していきたいと思います。